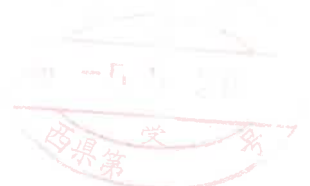


様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書	
令和5年6月27日	
(あて先) 岐阜県知事 殿	
提出者	
住 所 大垣市楽田町2-1634-1	
氏 名 株式会社林組	
代表取締役 林 広道	
電話番号 0584-82-1637	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	株式会社 林 組
事業場の所在地	大垣市楽田町2丁目1634番地1
計画期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	はつり・解体工事業
②事業の規模	¥450,000,000——(完成工事高)
③従業員数	17人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	がれき類} →中間処理施設(破碎) →再生処理(リサイクル) 木くず } →中間処理施設(破碎) →サーマルリサイクル 紙くず } →中間処理施設(破碎・圧縮) →サーマルリサイクル 廃プラスチック →中間処理(破碎・圧縮) →埋め立て処分 廃ボード →中間処理(破碎・分別) →再生処理(リサイクル)

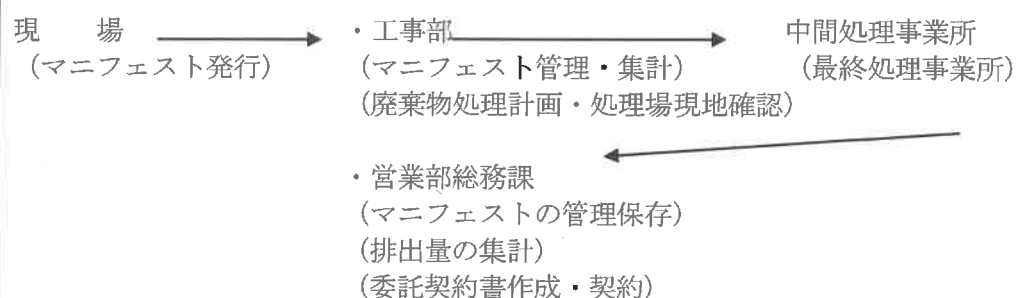
(日本工業規格 A列4番)



(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



*マニフェスト 5年間保存

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（令和4年度）実績】（別紙1参照）		
	産業廃棄物の種類		
	排出量		
	(これまでに実施した取り組み) コンクリート殻の小割 鉄筋の分別 内装材（プラスチック類）の手作業撤去 屋根材の先行撤去		
② 計画	【目標】（別紙1-2）		
	産業廃棄物の種類		
	排出量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 各現場において、最適な解体方法を選定し、分別解体をすすめる。 なるべく、混合廃棄物の量を減らし、リサイクル率を上げる。 汚れないプラスチックは、再生利用又はサーマルリサイクルできるように分別する。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) がれき類（コンクリート殻、アスファルト殻、瓦類、ガラス類 木くず、石膏ボード、せんいくず、廃プラスチック）
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 混合廃棄物——分別を徹底する

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) 特になし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 特になし		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) なし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) なし		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組） なし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組） なし		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度（令和4年度）実績】 （別紙2参照）		
	産業廃棄物の種類		
	全 処 理 委 託 量		
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量		
	再生利用業者への 処 理 委 託 量		
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量		
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量		
	（これまでに実施した取組） 処理施設の定期的な視察・検査 適正に処理されているか、確認する マニフェストの回収の確認		

(第5面)

②計画	【目標】 未定		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組) リサイクル材の利用促進 分別解体の促進 (混合廃棄物の減量) 廃棄物の減量化 (現場での破碎、切断)		
※事務処理欄			

別紙 1

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項						
前年度(令和4年度)実績						
産業廃棄物の種類	がれき類	木くず	廃プラスチック	ガラス・陶磁器くず	石綿含有建材	混合廃棄物
排出量 /t	3,252.8	195.7	5.9	26.7	12.7	16.2
産業廃棄物の種類	廃石膏ボード					
排出量 /t	2.8					

別紙 1-2

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項						
今年度(令和5年度)目標						
産業廃棄物の種類	がれき類	木くず	廃プラスチック	ガラス・陶磁器くず	石綿含有建材	混合廃棄物
排出量 /t	4,000	200	10	30	10	20
産業廃棄物の種類	廃石膏ボード					
排出量 /t	10					

別紙 2

産業廃棄物の処理の委託に関する事項							
前年度(令和4年度)実績							
産業廃棄物の種類	がれき類	木くず	廃プラスチック	ガラス・陶磁器くず	石綿含有建材	混合廃棄物	廃石膏ボード
全処理委託量 /t	3,252.8	195.7	5.9	26.7	12.7	16.2	2.8
優良認定処理業者 への処理委託量		195.7	5.9	26.7	12.7	16.2	2.8
再生利用業者への 処理委託量	3,252.8						
認定熱回収業者へ の処理委託量							
認定熱回収業者以 外の熱回収を行う業 者への処理委託量							